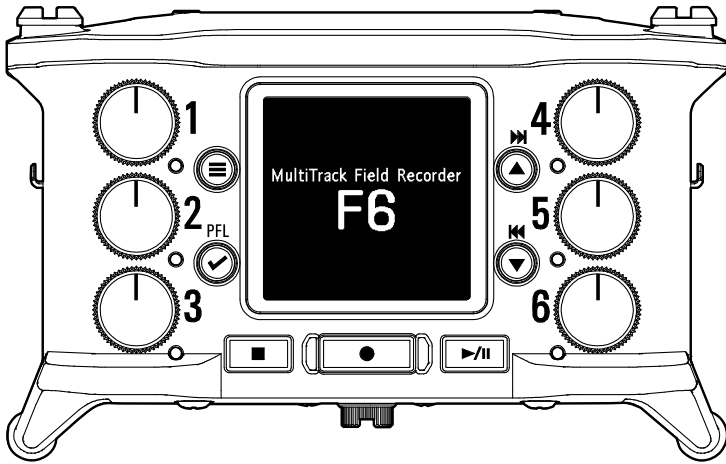


# F6

## MultiTrack Field Recorder



### クイックガイド

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOM の WEB サイト（[www.zoom.jp/docs/f6](http://www.zoom.jp/docs/f6)）からダウンロードできます。

このページには、PDF 形式と ePub 形式のファイルがあります。

PDF は、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。ePub は、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

Windows® は、Microsoft® 社の商標または登録商標です。Mac は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

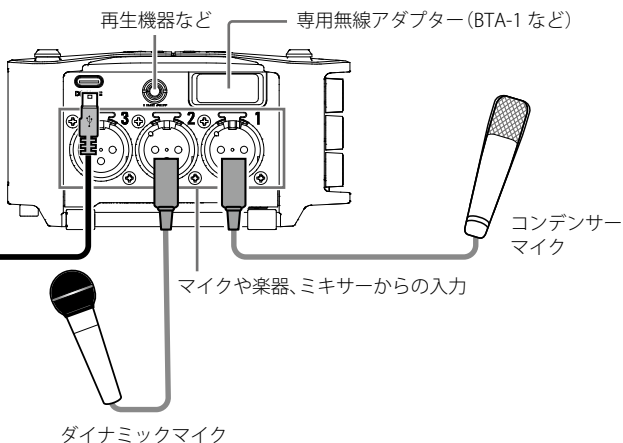
# 接続

## ■左側面

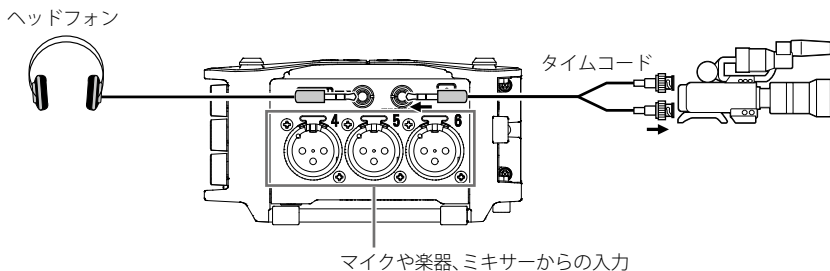
- ・パソコン  
オーディオインターフェース  
カードリーダー
  - ・FRC-8 Fシリーズリモートコントローラー
- ※データ転送に対応した  
USBケーブルを使用してください。



- ・専用 AC アダプター (ZOOM AD-17)
- ・市販の 5V モバイルバッテリー



## ■右側面

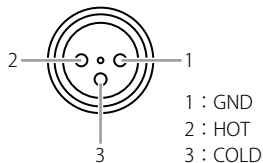


### NOTE

タイムコードケーブルの入出力は、以下の仕様となります。



インプット 1～6 の XLR の入力は、以下の仕様となります。



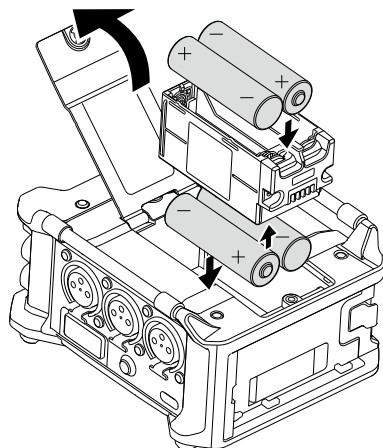
# 準備

## 電源について

単三電池、Lバッテリー、USBの3種類から選べます。

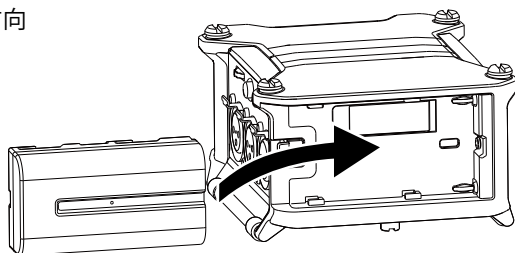
### ■単三電池

1. 底面の電池カバーのネジを緩める
2. 底面の電池カバーを開け、電池ケースを取り外す
3. 電池ケースに単三電池（4本）を取り付ける
4. 電池ケースを本体に取り付ける
5. 電池カバーを閉じ、ネジを締める



### ■Lバッテリー

1. Lバッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける



#### NOTE

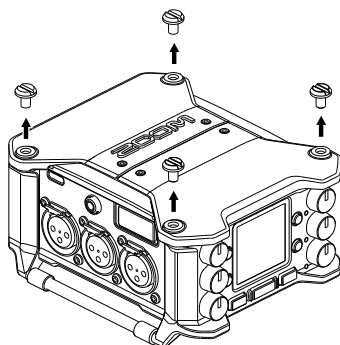
電池を取り付けた後は、メニュー>システム>設定>電源設定>タイプで電源の種類を正しく設定してください。

#### HINT

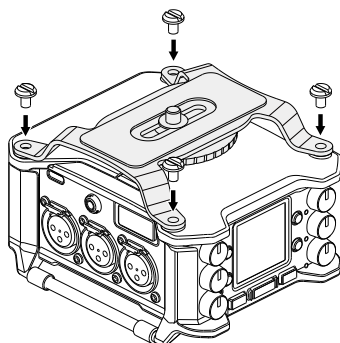
[USB] 端子にUSBタイプCケーブルを接続して、AC電源で使用することもできます。

## カメラマウントアダプターの取り付け

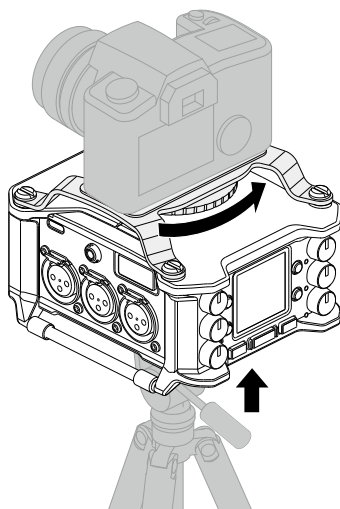
1. **F6** 上面の 4 本のネジを外す



2. カメラマウントアダプターと**F6**のネジ位置を合わせて、ネジで固定する

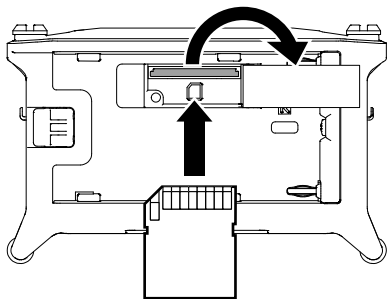


3. 三脚などに**F6**を固定し、カメラマウントアダプターのネジでカメラを固定する



## SD カードのセット

1. SD カードスロットカバーを開け、SD カードを挿し込む



### HINT

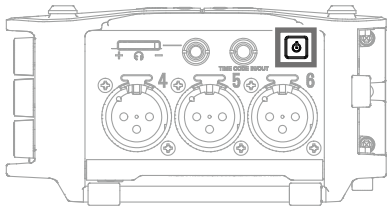
取り出したいときは、SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜いてください。

### NOTE

市販のSD カードや、他のパソコンで初期化されたSD カードを使用する場合は、最初に**F6**で初期化する必要があります。SD カードの初期化は、メニュー>システム>SD カード>フォーマットから行ってください。

## 電源の ON/OFF

1.  を長押しして電源を入れる



### HINT




電源を切る場合は、 を長押ししてください。

### NOTE

- 「SD カードがありません!」と表示されたら、SD カードが正しくセットされているか確認してください。
- 「SD カードが書き込み禁止です!」と表示されたら、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。
- 「不正なSD カードです!」と表示されたら、フォーマットが不正です。初期化するか、別のカードを使用してください。

## 言語の設定（初回起動時）

ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、表示言語の設定画面が表示されるので、ディスプレイの表示言語を設定します。

1.  /  を押して、表示言語を選択し、 を押す












### HINT

言語の設定は、メニュー>システム>言語設定で、後から設定し直すこともできます。

## 日付／時刻の設定（初回起動時）

言語設定の後、日付／時刻の設定画面が表示されるので、日付時刻を設定します。

1.  /  を押して、変更したい項目を選択し、 を押す
2.  /  を押して、値を変更し、 を押す
3.  /  を押して、[Enter] を選択し、 を押す



### HINT

日付／時刻の設定は、メニュー>システム>設定>日付／時刻>日付設定で、後から設定し直すこともできます。

# LCD 表示

## ■ ホーム画面

ステータスアイコン



カウンター

録音中：録音経過時間または録音残り時間  
再生中：再生経過時間または再生残り時間

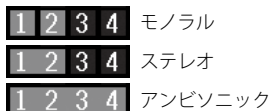
録音／再生サンプルレート  
クリップインジケータ

レベルメーター

トラック番号

赤：インプット有効  
緑：再生トラック有効  
グレー：インプット無効

隣接したトラック番号がつながり、  
インプットのリンク設定を示します。



フレームレート

INT：内蔵タイムコード有効  
EXT：外部入力タイムコード有効

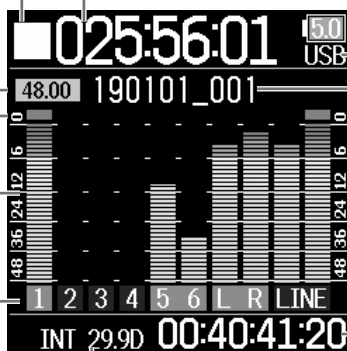
電源の種類と残量

USB：端子に接続された電源  
EXT：Lバッテリー  
AA：単三電池

録音／再生テイク名

停止中に [STOP] を長押しすると、  
次に録音されるテイク名が  
表示されます。

録音／再生タイムコード



### HINT

**F6** には録音設定のモードには Linear (16bit / 24bit) と Float(32bit) の2つの種類があり、それぞれ以下のような特徴があります。

**Linear**：通常の 16/24bit WAV ファイルを録音するモードです。クリップインジケータが点灯しないように入力レベル (トリム) を調節し、録音を行います。レベルメーターは入力レベルを調節した後のレベルを表示します。

**Float**：32bit Float WAV ファイルを録音するモードです。入力レベルを調節する必要はなく、最大入力レベルを超えない限り、小さな音も大きな音も高品質に録音することができます。レベルメーターは [トラックノブ] で調節されたレベルを表示します。

### NOTE

録音設定のモードが Float(32bit) の時は、一部画面の表示が異なります。

# 入出力の設定

## 入力ソースを設定する

メニュー>入力設定>PFL>インプット1～6>  
入力ソースの順に選択し、入力ソースを設定します。

☰：メニュー画面を開く

▲／▼：上下選択

✓：決定



設定	説明
マイク	マイクなどの入力レベルの低い機器を接続するときに選択します。
マイク (PH)	マイクレベルかつファンタム電源を使用します。
ライン	ラインレベルの機器を接続するときに選択します。 [マイク] を選択したときに比べて、入力レベルが 20dB 減衰します。
ライン (PH)	ラインレベルかつファンタム電源を使用します。
USB 1～4	[AIF with Rec] の設定がオンに設定されているとき、パソコンの出力信号を入力信号として扱うことができます。

### HINT

- メニュー>入力設定>ファンタム設定で、ファンタム電源の電圧、省電力設定（再生時の電源供給）を変更できます。
- メニュー画面からホーム画面に戻るには、☰を押してメニュー画面の階層を1つずつ戻ります。



## 入力レベル（トリム）を調節する

録音設定のモードが Float（32 bit）以外の時は、メニュー  
> 入力設定 > PFL > インพุット 1～6 > トリムの順に選  
択し、入力レベルを調節します。

- ☰：メニュー画面を開く
- ▲／▼：上下選択と値の調節
- ☑：決定




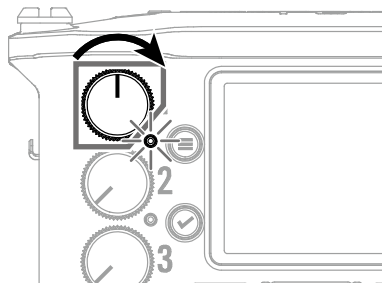
### HINT

ヘッドフォンの音量の調節方法は「ヘッドフォンの音量を調節する」(→ P.10) を参照してください。

## トラックを有効にする


使用する入力をインพุット 1～6 の中から選択できます。  
インพุット 1 はトラック 1、インพุット 2 はトラック 2 など、インพุットと同じ番号のトラ  
ックに録音されます。

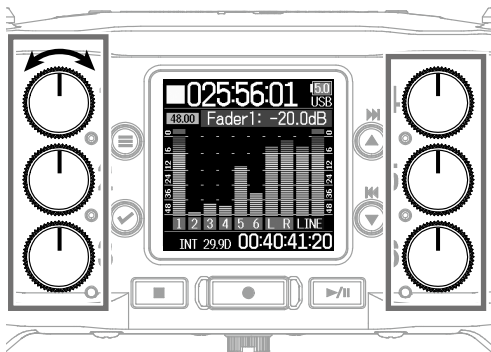
1. 録音したいインพุットと同じ番号の  を右  
に回し、トラックのステータスインジケーター  
を点灯させる




ステータスインジケーター	画面上のトラック番号の背景色	説明
赤点灯	赤	インพุットが有効です。
消灯	グレー	インพุットが無効です。

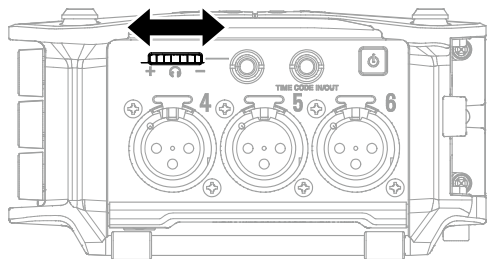
## トラックの音量を調節する

1. 調節したいトラックの  を回し、  
各トラックの音量を調節する





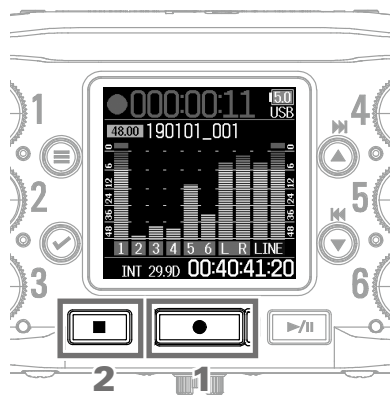
## ヘッドフォンの音量を調節する

1.  を回す





# 録音する

1. を押す  
録音を開始します。
2. を押す  
録音を停止します。





## ■録音中の操作

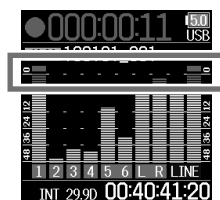
機能	操作
一時停止とマーク／再開	 を押す
次のテイクの録音を開始する	 を押す 録音は継続したまま現在のテイクを停止し、新しいテイクで録音が始まります。

### NOTE



録音中にファイルサイズが2GBを超えると、自動的に新しいテイクが作成され、録音が続続されます。このとき、2つのテイク間に音飛びは発生しません。

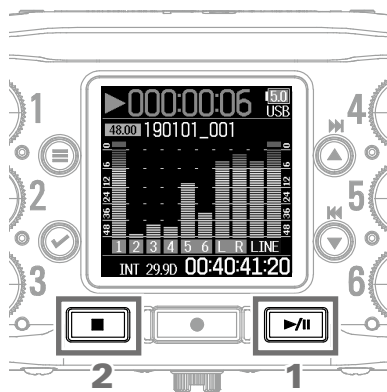
### HINT

- 大きな音が入力されると、クリップインジケータが点灯します。クリップインジケータが点灯しないように入力レベルを調節して下さい。
- 1度表示されたクリップインジケータは  を押しなが  を押すことでクリアできます。



# 再生する


1. を押す  
再生を開始します。
2. を押す  
再生を停止します。



## ■再生中の操作

機能	操作
一時停止／再開	 を押す
再生テイクの選択／マーク位置の頭出し	 /  を押す
早送り	 を長押し
早戻し	 を長押し

# 機能／設定一覧

ホーム画面でを押すとメニュー画面が表示され、以下の機能／設定を使用できます。

項目	説明		
ファインダー	SD カード内のテイクやフォルダーの一覧と編集、プロジェクト／シーンフォルダーの作成、録音／再生フォルダーの設定などを行います。		
入力設定	PFL	入力ソース、トリム、HPF、リミッター、位相反転、ディレイ、パン、PFL 画面内でのモニター音を設定します。	
	ファンタム設定	ファンタム電源の電圧、省電力機能を設定します。	
	リンク設定	入力のリンク、トリムのリンクを設定します。	
	オートミックス	複数の入力を使用しているときに、入力レベルが小さいトラックのレベルを自動で減衰させることでバックグラウンドノイズを抑える機能を設定します。	
出力設定	ヘッドフォン出力	ヘッドフォン出力のルーティング、デジタルブースト、ボリュームカーブ、通知音レベルを設定します。	
	ライン出力	ライン出力のレベル、ルーティング、リミッター、ディレイを設定します。	
録音設定	モード ※設定したモードにより録音設定メニューに表示される項目が変わります。	録音モードの設定と、録音する WAV ファイルのビット深度を設定します。	
	モードが MP3 以外のとき	サンプルレート	録音する WAV ファイルのサンプルレートを設定します。
		ファイルフォーマット	録音する WAV ファイルの形式を設定します。
		メタデータ	シーン名の付け方や、メタデータとして記録されるノート、トラック名を設定します。
		LR トラック	L/R トラックを録音するかどうかや、L/R トラックの音量を設定します。
		プリ録音	時間をさかのぼって録音するプリ録音を設定します。
	モードが MP3 のとき	サンプルレート	録音する MP3 ファイルのサンプルレートを設定します。
		ビットレート	録音する MP3 ファイルのビットレートを設定します。
		シーン名	シーン名の付け方を設定します。
		LR フェーダー	L/R トラックの音量を設定します。
再生設定	LR フェーダー	L/R トラックの音量を設定します。	
	リピート	再生のリピートを設定します。	
タイムコード	モード	タイムコードのモード、録音停止中のタイムコード出力、オーディオクロックとの同期、外部タイムコード入力がないときの内蔵タイムコードの動作を設定します。	
	FPS	内蔵タイムコードのフレームレートを設定します。	
	Jam	[TIMECODE IN/OUT] 端子に入力されたタイムコードを内蔵タイムコードにジャムしたり、内蔵タイムコードを任意の設定値でリスタートさせることができます。	
	ユーザービット	タイムコードに埋め込むことができるユーザービットについて、モード、内容を設定します。	
	Auto Rec Delay	タイムコードを受信してから録音が始まるまでの時間を設定します。	
	Start TC	起動時にどの設定値でタイムコードをジャムするかの設定と、RTC にジャムする場合の精度を高めるキャリブレーションを行います。	
システム	SD カード	設定のバックアップやロード、SD カードの情報の表示、性能テスト、フォーマットを行います。	
	USB	カードリーダー、オーディオ I/F、録音とオーディオ I/F を同時に使用する機能の設定や、FRC-8 を接続する場合の設定を行います。	
	Bluetooth	iOS デバイスやタイムコード機器との Bluetooth 接続を行います。	
	設定	日付／時刻、電源、キー操作、省電力機能、表示などの設定や、すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。	
	バージョン情報	ファームウェアのバージョンを確認します。	
	言語設定	ディスプレイの表示言語を設定します。	

※各設定の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。







株式会社ズーム

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3  
zoomcorp.com